第４３回全国少年柔道大会県予選における感染対策及び注意事項

本大会を開催するにあたり、参加する選手・監督・コーチ、大会役員をはじめとする大会関係者全員の安心安全の確保を最優先事項と考え、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する（厚生労働省HP）ガイドライン及び全柔連のガイドラインを読んで、感染防止に最大限務める。

また、インフルエンザの感染にも注意を払い、手洗いや消毒の励行、練習相手の限定など、感染防止に最大限務めること。選手、監督、コーチは、感染リスクとなるような行動を自粛すること。

大会２週間から、主たる練習場所以外での練習、合同練習は極力行わないよう感染防止に努める。

大会２週間まえのうちに発熱や諸症状があり、感染が否定できない場合、同居人や身近な知人に感染の疑いや濃厚接触者がおり感染が否定できない場合、陰性を証明（証明書等）できれば参加を認める。

大会関係者、監督、コーチ、観覧者は、マスクの着用が必須、選手も試合時以外はマスクを着用する。

待機中は、三密を避け、手指の消毒を徹底する。

【受　付】

　各団体でメンバー表・監督・コーチ・選手・観覧者の健康状態報告表を提出してください。

【観覧について】

　選手１名に付き１名の保護者の観覧を認めますが１席を空けて密を避けてください。

声を出しての応援は禁止いたします。ビデオ撮影については、反省や研究のため以外の使用、SNS等への投稿はお控えください。

　下足袋を持参し、応援で使用した椅子の消毒をお願いします。

【試　合】

　アップについては、独占使用しないで、各団体で協力し合って場所を共有してください。

　試合中の声を出しての応援は禁止する。監督、コーチも審判規程通りですが大声は控えてください

　感染防止対策のため、各団体で紅・白の帯と消毒液の準備をお願いします。

　敗戦した団体は、速やかに退場をお願いします。

　柔道を志し頑張っている選手の大会です。円滑に進めるためご協力をお願いします。

【第42回全国少年柔道大会の要項より】

『お願い』

**本大会は、身体的にも精神的にも発育途上の小学校児童の大会であることを常に念頭におかれて特に危険防止について考慮されたい。**

**また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢・組み方についても**

**ご配慮・ご指導をお願いしたい**。

